

【自己用住宅の場合】 開 発 行 為 許 可 申 請 書

都市計画法第 29 条第 1 項の規定により、開発行為の許可を申請 します。 令和 ○○年 ○○月 ○○日 青 森 市 長 様 住所 青森市中央一丁目○番○号 許可申請者 メゾン開発建築○○○号 氏名 建 築 一 郎 電話 0 1 7 - 7 6 1 - 4 5 2 9		※ 手 数 料 欄
開 発 行 為 の 概 要	1 開発地区に含まれる地域の名称 (区域の地名・地番)	青森市中央一丁目 2 2 番 5
	2 開発区域の面積	(地目) 田 (実測) ○○○平方メートル
	3 予定建築物等の用途	青森市市街化調整区域に係る開発行為等の許可の基 準に関する条例第○条第○号に規定する自己用住宅
	4 工事施行者住所氏名	青森市中央一丁目 2 2 番 5 号 建築開発指導株式会社 代表取締役 開発 太郎
	5 工事着手予定年月日 (造成工事)	令和○○年○○月○○日 (許可後○ <input type="text"/> 日 以内)
	6 工事完了予定年月日 (造成工事)	令和○○年○○月○○日 (許可後○ <input type="text"/> 日 以内)
	7 自己の居住の用に供するもの、自己の業務 の用に供するもの、その他のもの別	<input type="checkbox"/> 自己居住用 <input type="checkbox"/> 自己業務用 <input type="checkbox"/> 非自己用
	8 法第 34 条の該当号及び 該当する理由	法第 34 条第 12 号及び青森市市街化調整区域に係る開発行為 等の許可の基準に関する条例第○条第○号に該当するため
	9 その他必要な事項	令和○○年○○月○○日 農地転用許可申請 設計者氏名 開発 次郎 電話 017-34-1111
※	受 付 番 号	令和 年 月 日 第 号
※	許 可 に 附 し た 条 件	
※	許 可 番 号	令和 年 月 日 第 号

- 備考 1 宅地造成等規制法(昭和 36 年法律第 191 号)第 3 条第 1 項の宅地造成工事規制区域
内においては、本許可を受けることにより、同法第 8 条第 1 項本文の宅地造成に関する
工事の許可が不要となります。
- 2 津波防災地域づくりに関する法律(平成 23 年法律第 123 号)第 7 条第 1 項の特定
開発行為は、本許可を受けることにより、同項の許可を受けたものとみなされます。
- 3 許可申請者又は工事施行者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び
代表者の氏名を記載すること。
- 4 ※印のある欄は記載しないこと。
- 5 「法第 34 条の該当号及び該当する理由」の欄は、申請に係る開発行為が市街化調整区
域内において行われる場合に記載すること。
- 6 「その他の必要な事項」の欄には、開発行為を行うことについて、農地法その他の法令
による許可、認可等を要する場合には、その手続きの状況を記載すること。

※ 受 付 欄

開発区域内権利者一覧表

物件の種類	所在及び地番	地目	面積	権利の種類	権利者の氏名	同意の有無	摘要
土地	青森市柳川二丁目1番1	田	〇〇〇	所有権	建築 太郎	有	
土地	青森市柳川二丁目1番1	田	〇〇〇	抵当権	建築銀行株式会社	有	

- 注 1. 物件の種類欄には、土地・建物等の種別を記入すること。
2. 権利の種類欄には、所有権・抵当権等の別を記入すること。
3. 同意の有無欄には、その旨を記入し、協議中の場合はその経過を示す説明書を添えること。
4. 同一物件に権利者が2人以上ある場合は、摘要欄にその旨を記入すること。

様式8

開発行為の施行等の同意書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

開発者 住所 青森市中央一丁目〇番〇号
メゾン開発建築〇〇〇号
氏名 建築 一 郎 様

権利者 住所 青森市中央一丁目〇番〇号
氏名 建築 太 郎
(電話017-734-1111)

わたくしが権利を有する次の物件について開発行為及び開発行為に関する工事を行うことに同意します。
なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異義ありません。

物件の種類	所在及び地番	面積	権利の種類	摘要
土地	青森市中央一丁目 22番5	〇〇〇. 〇〇㎡	所有権	

備考

権利者と同一人物であることが証明できる本人確認資料の写しを添付すること。
ただし、権利の種類が抵当権などの所有権でない場合は、この限りではありません。

様式8

開発行為の施行等の同意書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

開発者 住 所 青森市柳中央一丁目〇番〇号

メゾン開発建築〇〇〇号

氏 名 建 築 一 郎 様

権利者 住 所 青森市中央一丁目△△番△号

氏 名 建築銀行株式会社

(電話017-734-1111)

わたくしが権利を有する次の物件について開発行為及び開発行為に関する工事を行うことに同意します。

なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異義ありません。

物件の種類	所在及び地番	面 積	権利の種類	摘 要
土 地	青森市中央二丁目 22番5	〇〇〇. 〇〇m ²	抵当権	

備 考

権利者と同一人物であることが証明できる本人確認資料の写しを添付すること。

ただし、権利の種類が抵当権などの所有権でない場合は、この限りではありません。

建築物の新築、改築若しくは用途の変更 又は第一種特定工作物の新設許可申請書

【自己居住用の場合】

都市計画法第43条第1項の規定により、 の許可を申請します。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 青森市長 様 許可申請者住所 青森市中央一丁目〇番〇号 メゾン開発建築〇〇〇号 氏名 建築 一郎 (電話 017-761-4529)	の	(建築物 第一種特 定工作物)	(新築 改築 用途の変更 新設)	※手数料欄
1 建築物を建築しようとする土地、用途の変更をしようとする建築物の存する土地又は第一種特定工作物を新設しようとする土地の所在、地番、地目及び面積	青森市中央一丁目22番5 (地目) 宅地 (実測) 〇〇〇 平方メートル			
2 建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物の用途	青森市市街化調整区域に係る開発行為等の許可の基準に関する条例第〇条第〇号に規定する自己用住宅			
3 改築又は用途の変更をしようとする場合は、既存の建築物の用途	(空欄)			
4 建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は建築しようとする第一種特定工作物が法第34条第1号から第10号まで又は令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物又は第一種特定工作物に該当するかの記載及びその理由	令第36条第1項第3号ハ及び青森市市街化調整区域に係る開発行為等の許可の基準に関する条例第〇条第〇号に該当するため			
5 その他必要な事項	設計者氏名 開発 次郎 Tel 017-734-1111			
※ 受付番号	令和 年 月 日 第 号			
※ 許可に付した条件	(空欄)			
※ 許可番号	令和 年 月 日 第 号			

備考

- 1 許可申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 ※印のある欄は記載しないこと。
- 3 「その他の必要な事項」の欄には、建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定工作物の新設することについて他の法令による許可、認可を要する場合には、その手続きの状況を記載すること。

※ 受付欄
(空欄)

建築敷地内権利者一覧表

物件の種類	所在及び地番	地目	面積	権利の種類	権利者の氏名	同意の有無	摘要
土地	青森市柳川二丁目1番1号	宅地	〇〇〇	所有権	建築 太郎	有	
土地	青森市柳川二丁目1番1号	宅地	〇〇〇	抵当権	建築銀行株式会社	有	

- 注 1. 物件の種類欄には、土地・建物等の種別を記入すること。
 2. 権利の種類欄には、所有権・抵当権等の別を記入すること。
 3. 同意の有無欄には、その旨を記入し、協議中の場合はその経過を示す説明書を添えること。
 4. 同一物件に権利者が2人以上ある場合は、摘要欄にその旨を記入すること。

様式 11

建築行為等の同意書

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

開発者 住 所 青森市中央一丁目〇番〇号

.....メゾン開発建築〇〇〇号

氏 名 建 築 一 郎様

権利者 住 所 青森市中央一丁目〇番〇号.....

氏 名 建 築 太 郎.....

(電話 017-734-1111)

わたくしが権利を有する次の物件について建築行為及び建築行為に関する工事を行うことに同意します。
なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異義ありません。

物件の種類	所在及び地番	面 積	権利の種類	摘 要
土 地	青森市中央一丁目 22番5	〇〇〇. 〇〇㎡	所有権	

備 考

権利者と同一人物であることが証明できる本人確認資料の写しを添付すること。

ただし、権利の種類が抵当権などの所有権でない場合は、この限りではありません。

様式 11

建築行為等の同意書

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

開発者 住 所 青森市中央一丁目〇番〇号

メゾン開発建築〇〇〇号

氏 名 建 築 一 郎 様

権利者 住 所 青森市中央一丁目△△番△号

氏 名 建築銀行株式会社

(電話017-734-1111)

わたくしが権利を有する次の物件について建築行為及び建築行為に関する工事を行うことに同意します。

なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異義ありません。

物件の種類	所在及び地番	面積	権利の種類	摘要
土地	青森市中央一丁目 22番5	〇〇〇. 〇〇㎡	抵当権	

備考

権利者と同一人物であることが証明できる本人確認資料の写しを添付すること。

ただし、権利の種類が抵当権などの所有権でない場合は、この限りではありません。

自己の住宅を建築しようとする理由書

1. 申請人

住 所 青森市中央一丁目〇番〇号

メゾン開発建築〇〇〇号

氏 名 建 築 一 郎

2. 申請人職業

会 社 員

3. 勤務先名及び所在地

勤務先名 〇 〇 商事株式会社

所 在 地 青森市中央一丁目〇番〇号

4. 現在の住居の状況

親と同居

自 家

借 家

アパート

社 宅

寮

その他 ()

5. 現在の家族の状況 (婚約中の者は婚約証明添付)

氏 名	職 業	年 齢	続 柄
建築 一郎	会 社 員	〇〇歳	本 人
建築 花子	無 職	〇〇歳	配偶者
建築 次郎	青い森中学校	〇〇歳	子 (長男)
建築 三郎	青い森小学校	〇〇歳	子 (次男)
建築 五郎	青い森保育園	〇歳	子 (三男)

6. 住宅を必要とする理由

現在家族5人でアパートに住んでいますが、家族の人数が多いため、かなり手狭な状況です。

特に小中学校の子どもがおり、子供部屋が必要となっていますが、現在のアパートでは子供部屋を作るのが困難な状況です。

市街化区域に住宅を建てることも考えましたが、子供の学区が変更になり、転校を余儀なくされることから、子供が非常に嫌がり、断念しました。

このため、やむを得ず当該地に住居を建築することを計画したので何卒よろしくお願いいたします。

上記のとおり相違ありません。

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

申請人氏名

建 築 一 郎

現在の家屋の所有者

〇 〇 〇 〇

都市計画法第〇〇条許可申請に係る打ち合わせ記録

申請地 青森市大字

申請者 住所

氏名

① 接道について

令和〇年〇月〇日 青森市 都市整備部 建築指導課 建築指導チーム（確認した職員の名前）に確認したところ、申請地に接している道路は建築基準法第 42 条第〇項道路であるとのことでした。

② 遺跡文化財について

令和〇年〇月〇日 青森市 教育委員会 文化財課（確認した職員の名前）に確認したところ、〇〇遺跡が付近に点在していますが、住宅を建てるにあたって問題なしとのことでした。

縄文の学び舎・小牧野館(旧野沢小学校)

排水先の管理者：

八重田浄化センター（下水道）、市公園河川課（排水路）、市道路維持課（市道側溝）、県東青地域県民局地域整備部管理課・道路施設課（県道側溝）、農地林務課・農事振興会・水利組合（用水路）など

③ 排水について

令和〇年〇月〇日 〇〇〇 〇〇部 〇〇課（確認した職員の名前）に確認したところ、（※）とのことでした。

※ 下水道施設・農業集落排水施設の利用が可能、道路側溝に排水が可能、など（同意書が必要な場合もあります。）

④ 給水について

令和〇年〇月〇日 青森市 企業局水道部 施設課（確認した職員の名前）に確認したところ、青森市大字〇〇字〇〇の管より引き込みができるとのことでした。

奥野

⑤ 水源保護区域について

令和〇年〇月〇日 青森市 企業局水道部 総務課（確認した職員の名前）に確認したところ、水源保護区域内だが、計画住宅は小規模であるため、問題は特にないとのことでした。

ただし、基礎工事は、布基礎又は、べた基礎に限るとのことでした。

奥野

⑥ 農業振興地域について

令和〇年〇月〇日 青森市 農林水産部 農業政策課（確認した職員の名前）に確認したところ、申請地は農業振興地域の農用地区域外であり、住宅を建てるにあたって問題なしとのことでした。

浪岡庁舎(0172-62-1156)

⑦ 地域森林計画について（地目が「山林」の場合）

令和〇年〇月〇日 青森市 農林水産部 農地林務課（確認した職員の名前）に確認したところ、申請地は地域森林計画の区域外であり、住宅を建てるにあたって問題なしとのことでした。

浪岡庁舎(0172-62-1146)

⑧ 急傾斜地崩壊危険区域について

令和〇年〇月〇日 青森市都市整備部公園河川課（確認した職員の名前）に確認したところ、申請地は急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第 3 条第 1 項の急傾斜地崩壊危険区域外であるとのことでした。

本庁舎(017-752-8345)

本庁舎(017-752-8345)

⑨ 土砂災害警戒区域について

令和〇年〇月〇日 青森市都市整備部公園河川課（ 確認した職員の名前 ）に確認したところ、申請地は土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第7条第1項の土砂災害警戒区域外であるとのことでした。

本庁舎(017-752-8345)

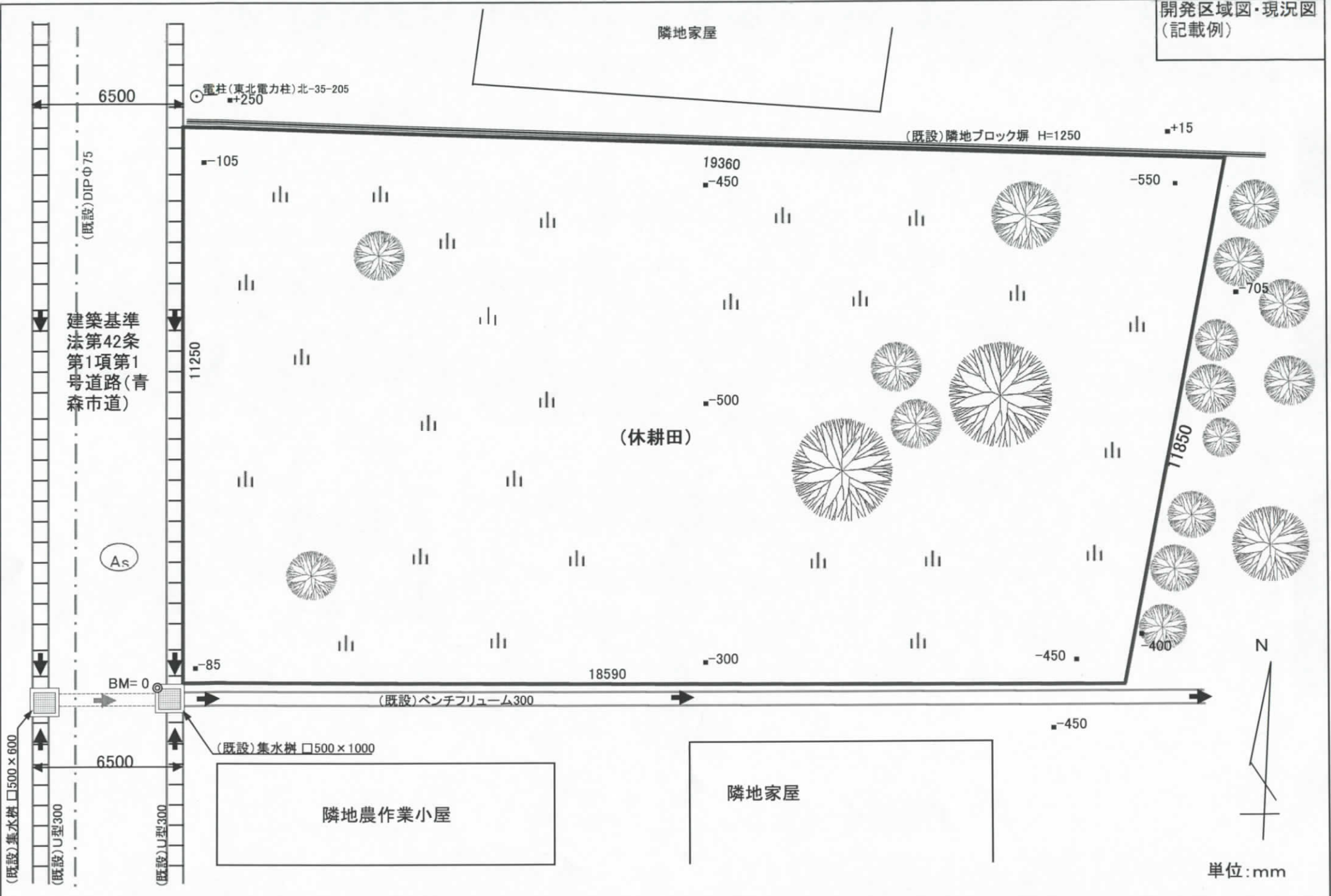
⑩ 浸水想定区域について

令和〇年〇月〇日 青森市都市整備部公園河川課（ 確認した職員の名前 ）に確認したところ、申請地は水防法第15条第1項第4号にある浸水想定区域のうち、浸水深が3メートル以上となる区域外であるとのことでした。

確認者 住所

氏名

開発区域図・現況図
(記載例)

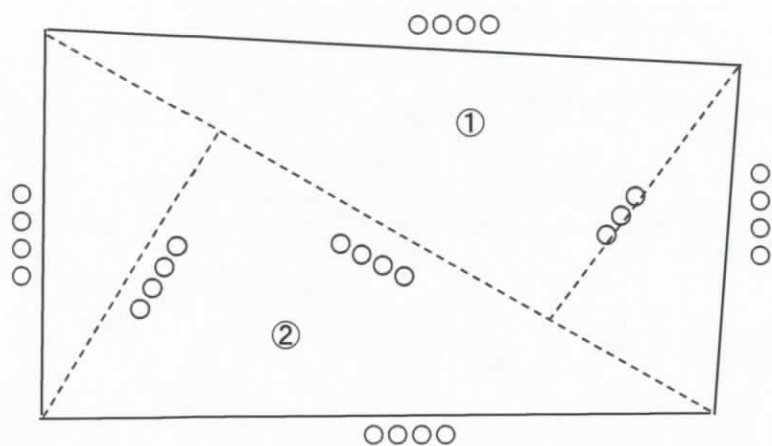


工事名	建築一郎様邸 新築工事	図面名	開発区域図・現況図	縮尺	1/〇〇〇	作図年月日	令和〇〇年〇月	設計者	建築開発指導株式会社〇級建築事務所 〇〇〇登録 〇級建築士 第〇〇〇〇号 開発 太郎
-----	-------------	-----	-----------	----	-------	-------	---------	-----	---

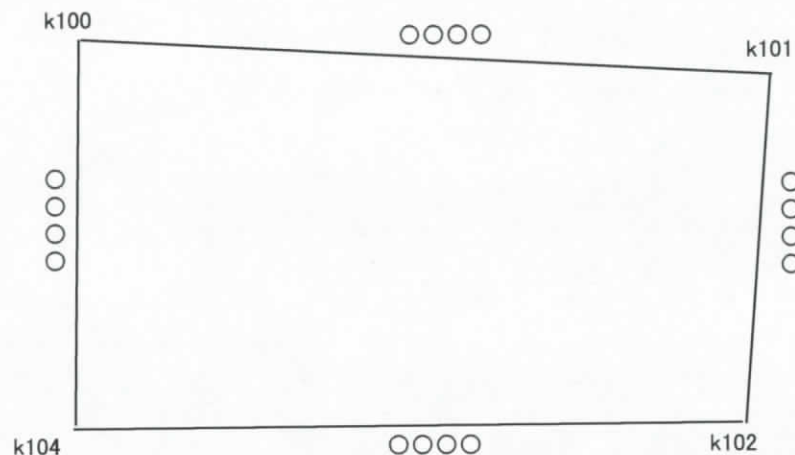
【特記】

- (1) 開発区域内外の状況を詳細に記載してください。
- (2) 「開発区域図」と「現況図」は併せて表示できます。
- (3) 建築許可の場合、「現況図」とし同様に作成してください。
- (4) 縮尺は1/100～1/300としてください。

【三斜法の場合】



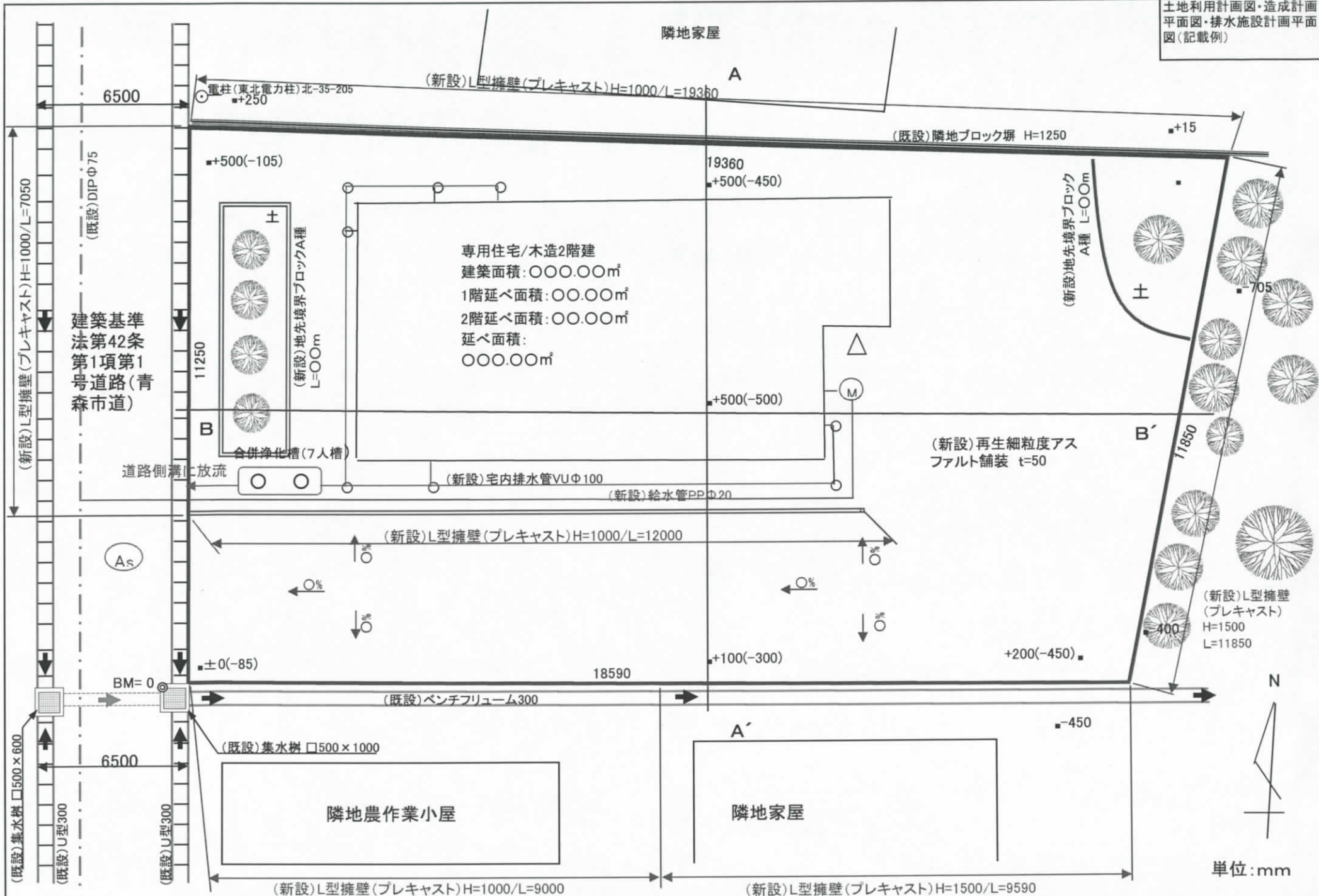
【座標法の場合】



	計算式	計
①	〇〇〇〇×〇〇〇	〇〇〇〇
②	〇〇〇〇×〇〇〇	〇〇〇〇
	合計(倍面積)	〇〇〇〇
	面積(合計×1/2): m ²	〇〇〇〇

日本測地系座標

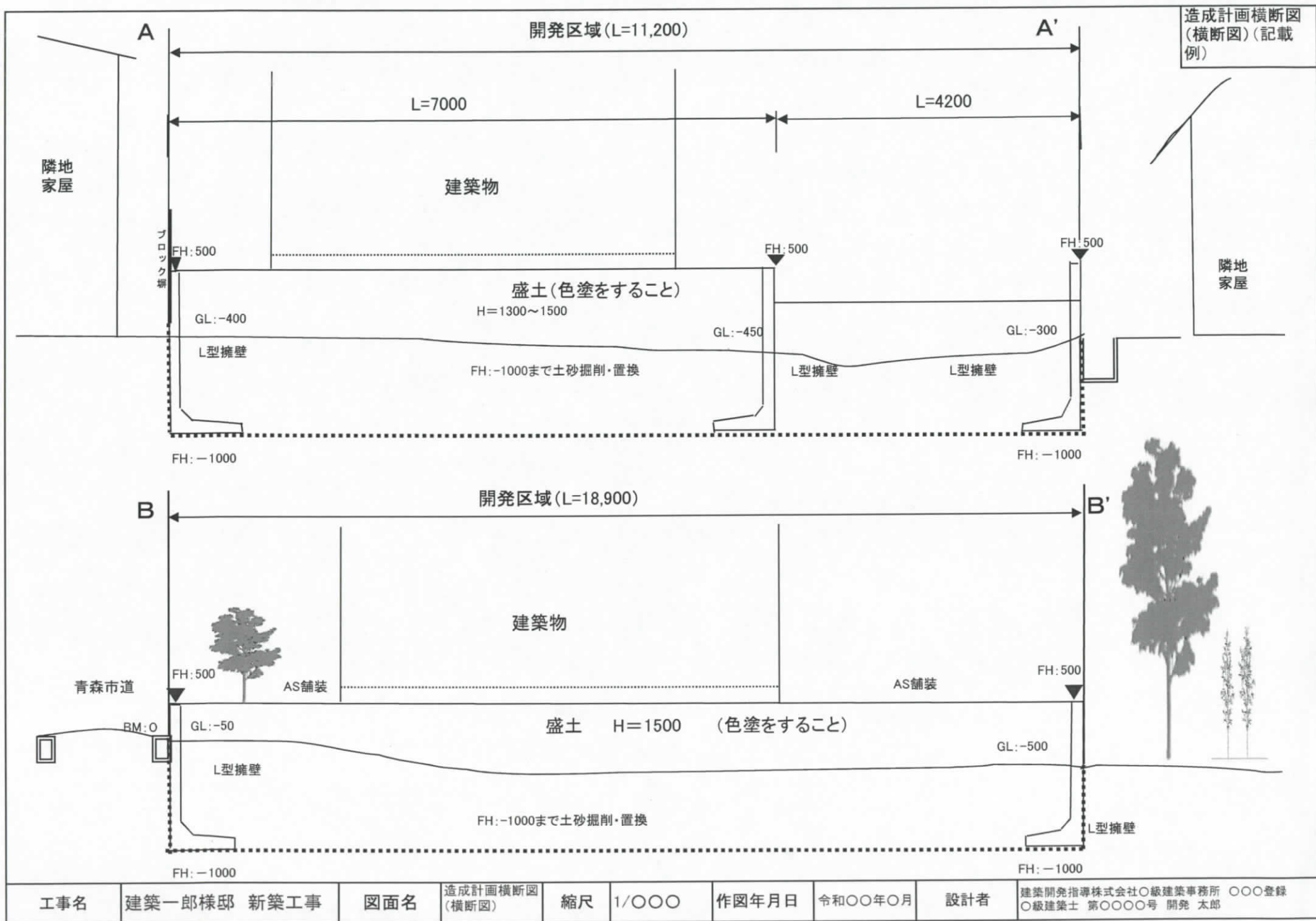
No.	X _n	Y _n	Y _{n+1} -Y _{n-1}	X _n ・(Y _{n+1} -Y _{n-1})
k101	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇
k102	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇
k103	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇
k104	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇
			合計	〇〇〇〇〇〇〇
			合計面積	〇〇〇〇〇〇〇
			面積(m ²)	〇〇〇〇



工事名	建築一郎様邸 新築工事	図面名	土地利用計画図・造成計画平面図・排水施設計画平面図	縮尺	1/000	作図年月日	令和〇〇年〇月	設計者	建築開発指導株式会社〇〇級建築事務所 〇〇〇登録 〇〇級建築士 第〇〇〇〇号 開発 太郎
-----	-------------	-----	---------------------------	----	-------	-------	---------	-----	---

【特記】

- (1) 現況図を基に記載してください。
- (2) 現況の高さ(GL)と計画の高さ(FH)の対比を記載してください。
- (3) 横断図の位置を記載してください(この図における土地の形状は2方向ですが、土地の形状によりそれ以上の造成計画断面図(横断図)が必要になることがあります)
- (4) 建築する建築物の構造・建築面積・延べ面積を・階数を記載してください。
- (5) 設置する工作物の規格・舗装種別を記載してください(現状のままとする場合も「砂利」や「砂」等の表示をしてください)。
- (6) 給排水設備の設置計画(口径・材質)を詳細に記載してください。
- (7) 切土又は盛土のいずれか一方であり、住宅の開発行為の場合、造成計画平面図、土地利用計画図及び排水施設計画平面図を併せて表示することができます。
- (8) 建築許可の場合、「土地利用計画図」とし、同様に作成してください。
- (9) 縮尺は1/100~1/300としてください。

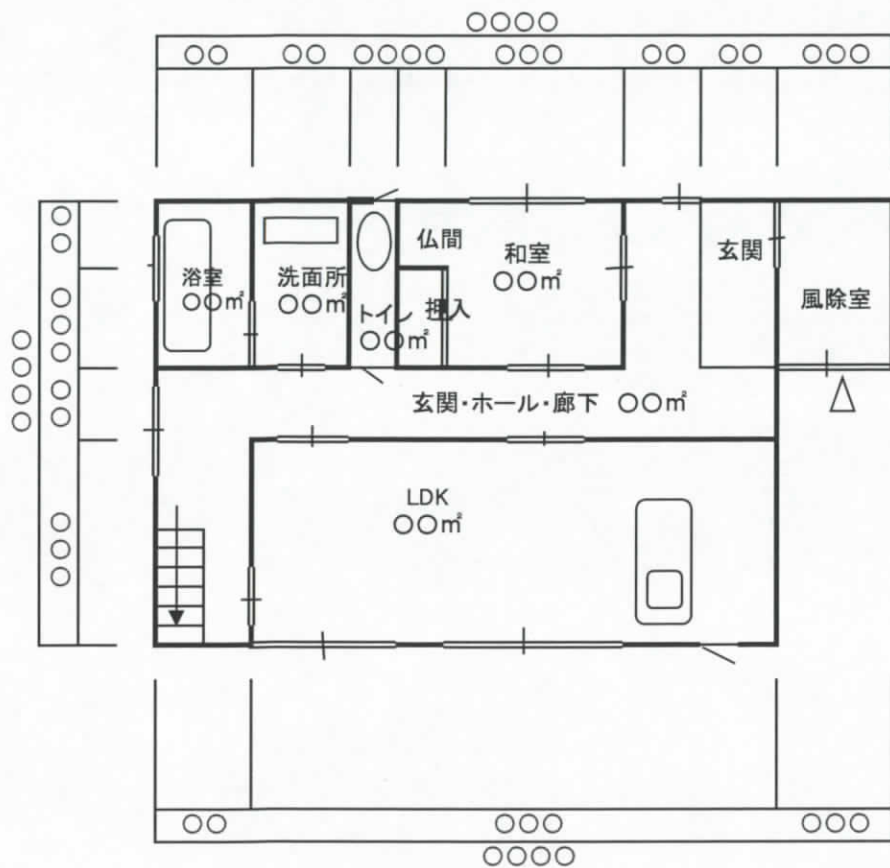


工事名	建築一郎様邸 新築工事	図面名	造成計画横断面図 (横断面図)	縮尺	1/〇〇〇	作図年月日	令和〇〇年〇月	設計者	建築開発指導株式会社〇級建築事務所 〇〇〇登録 〇級建築士 第〇〇〇〇号 開発 太郎
-----	-------------	-----	--------------------	----	-------	-------	---------	-----	---

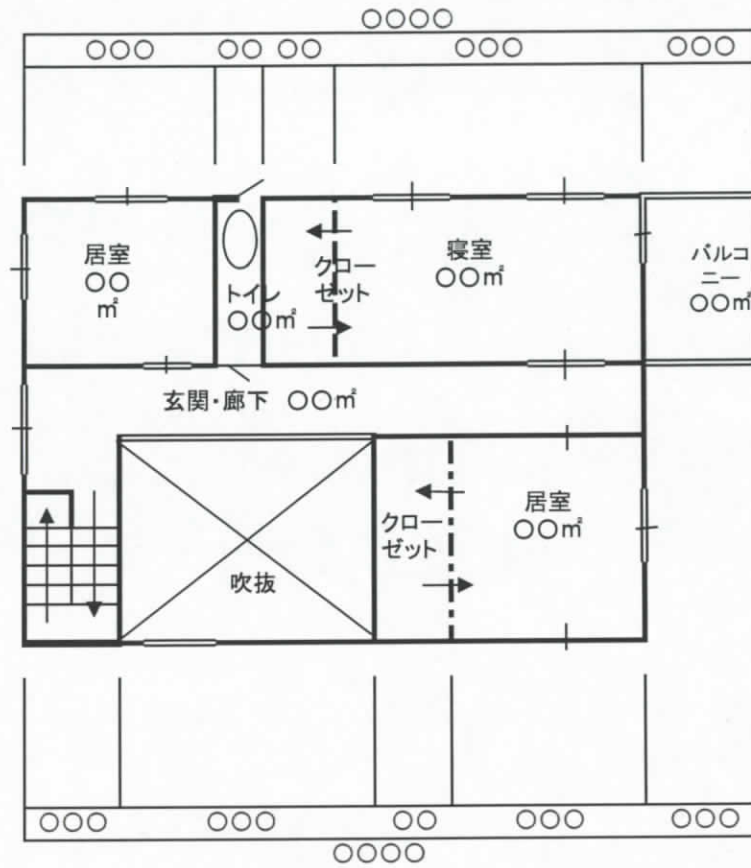
【特記】

- (1) 現況の高さ(GL)と計画の高さ(FH)の対比を記載してください。
- (2) 付近の建築物・工作物の状況を記載してください。
- (3) 盛土の場合青を、切土の場合赤を塗ってください。
- (4) 建築許可の場合、「横断図」とし、同様に作成してください。

建物平面図(記載例)



1階平面図

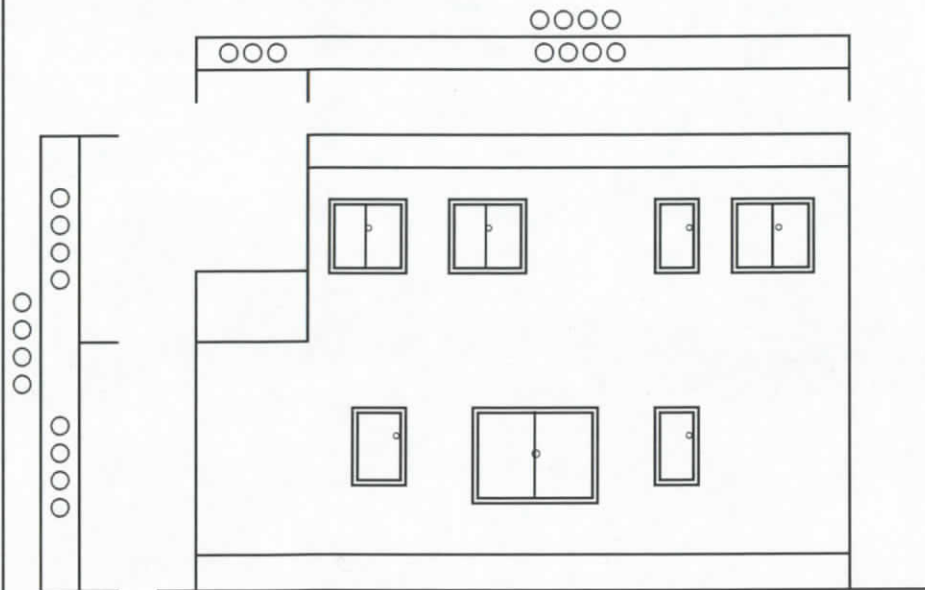


2階平面図

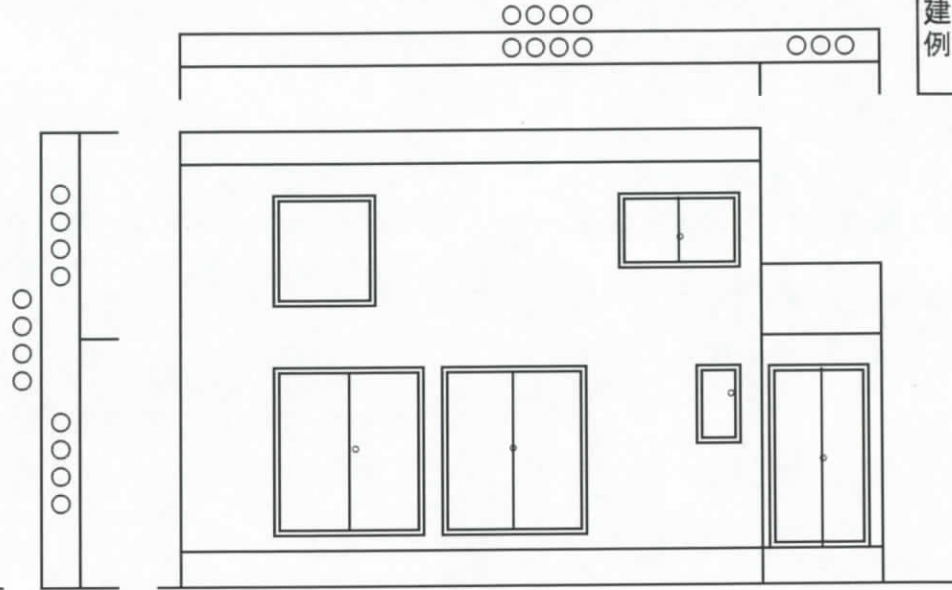


工事名	建築一郎様邸 新築工事	図面名	1・2階平面図	縮尺	1/〇〇〇	作図年月日	令和〇〇年〇月	設計者	建築開発指導株式会社〇級建築事務所 〇〇〇登録 〇級建築士 第〇〇〇〇号 開発 太郎
-----	-------------	-----	---------	----	-------	-------	---------	-----	---

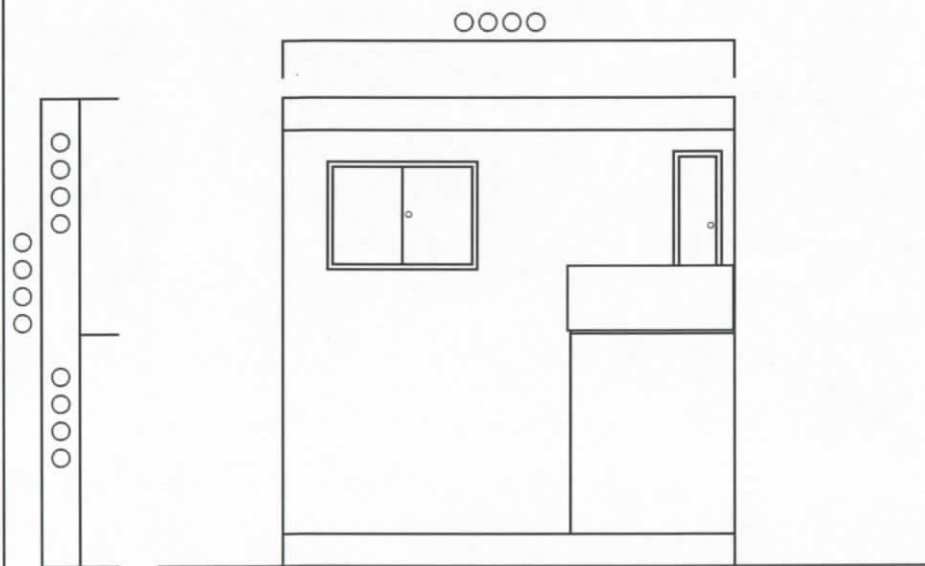
建物立面図(記載例)



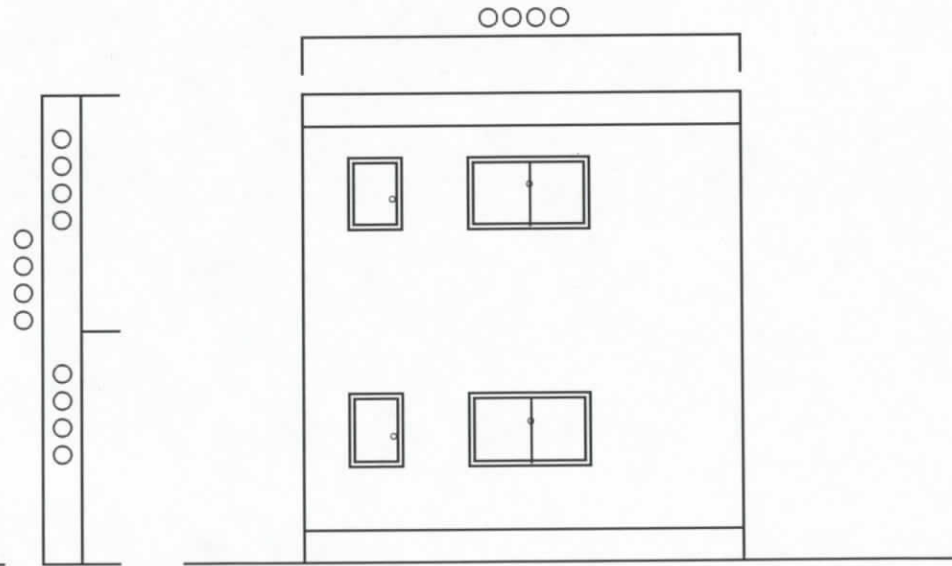
北側立面



南側立面

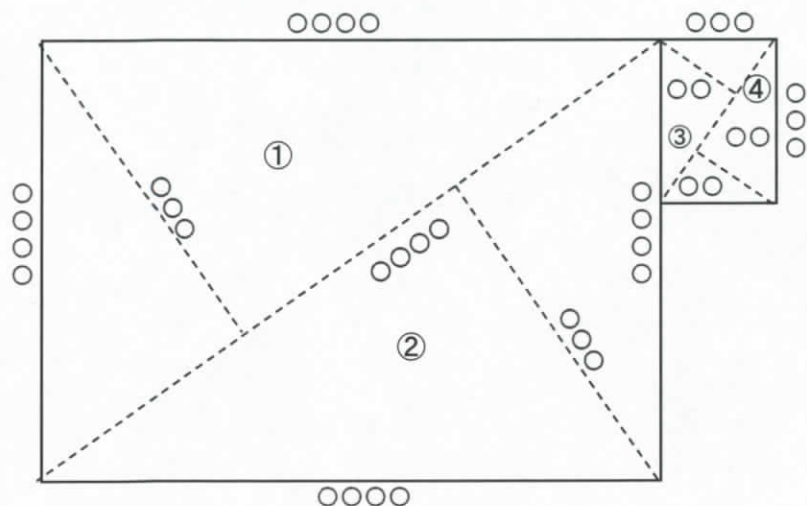


東側立面



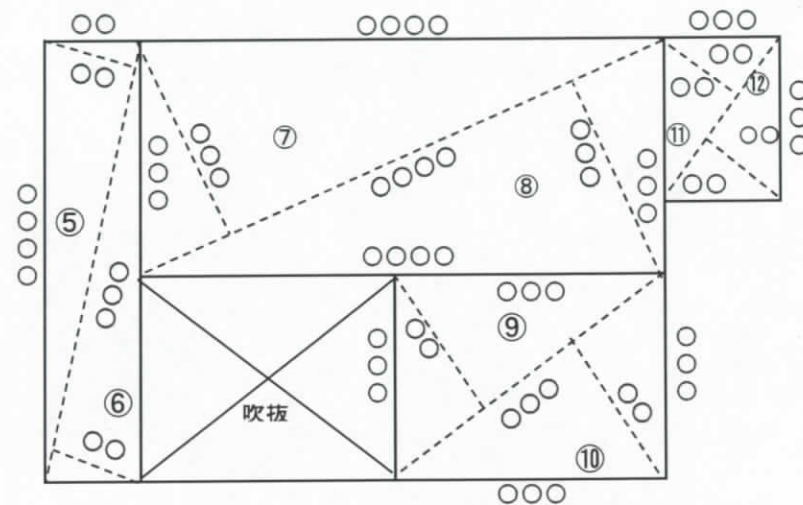
西側立面

工事名	建築一郎様邸 新築工事	図面名	立面図	1/000	作図年月日	令和00年0月	設計者	建築開発指導株式会社0級建築事務所 000登録 0級建築士 第0000号 開発 太郎
-----	-------------	-----	-----	-------	-------	---------	-----	---



建築面積・1階床面積

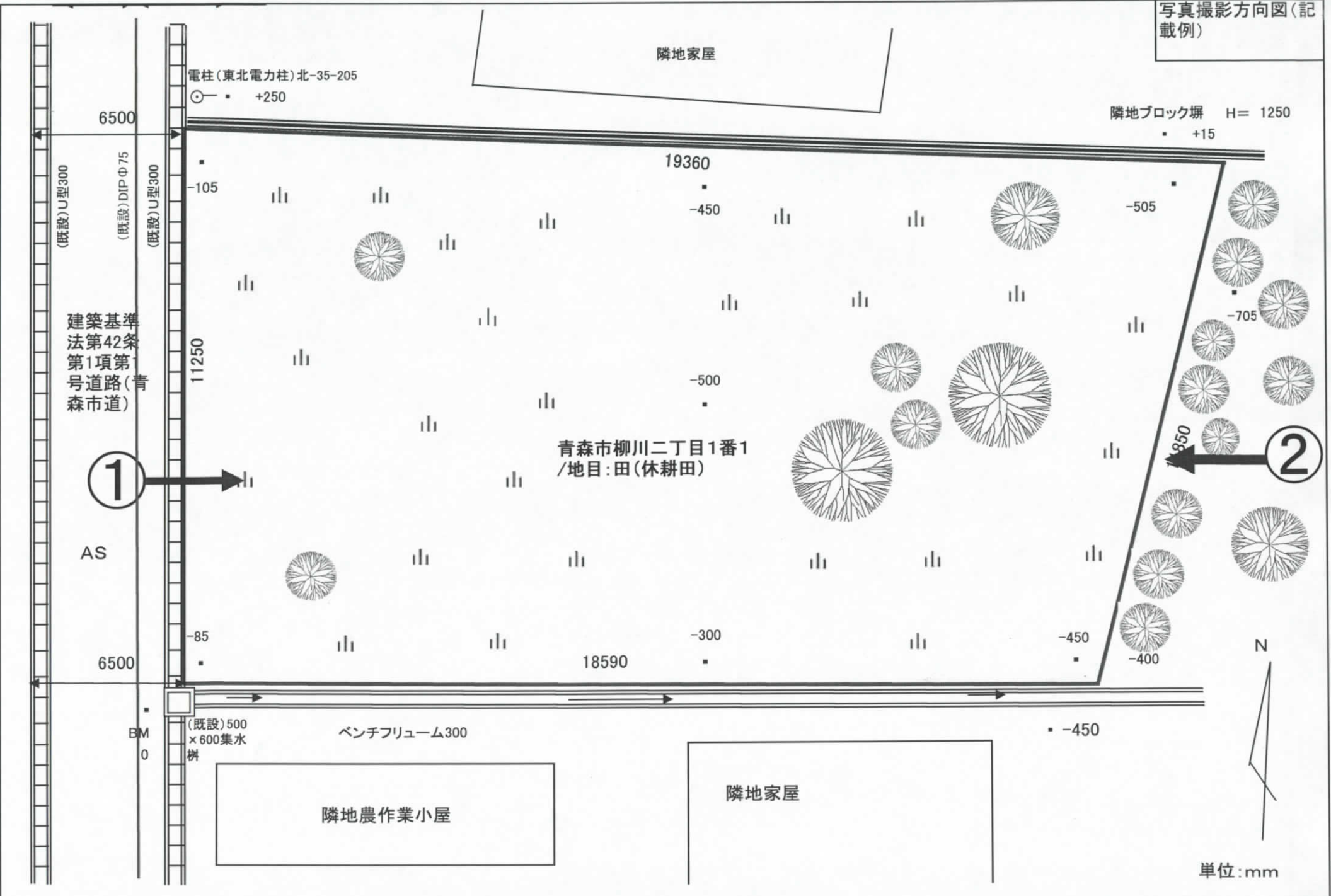
	計算式	計
①	〇〇〇〇×〇〇〇	〇〇〇〇
②	〇〇〇〇×〇〇〇	〇〇〇〇
③	〇〇×〇〇	〇〇〇
④	〇〇×〇〇	〇〇〇
	合計(倍面積)	〇〇〇〇
	面積(合計×1/2):m ²	〇〇〇〇



2階床面積

	計算式	計		計算式	計
⑤	〇〇〇×〇〇	〇〇〇〇	⑨	〇〇〇×〇〇	〇〇〇〇
⑥	〇〇〇×〇〇	〇〇〇〇	⑩	〇〇〇×〇〇	〇〇〇〇
⑦	〇〇〇〇×〇〇〇	〇〇〇	⑪	〇〇×〇〇	〇〇〇
⑧	〇〇〇〇×〇〇〇	〇〇〇	⑫	〇〇×〇〇	〇〇〇
	合計(倍面積)				〇〇〇〇
	面積(合計×1/2):m ²				〇〇〇〇
	建築面積:m ²				〇〇〇〇
	延べ面積:m ²				〇〇〇〇

写真撮影方向図(記載例)



工事名	建築一郎様邸 新築工事	図面名	写真撮影方向図	縮尺	1/〇〇〇	作図年月日	令和〇〇年〇月	設計者	建築開発指導株式会社〇級建築事務所 〇〇〇登録 〇級建築士 第〇〇〇〇号 開発 太郎
-----	-------------	-----	---------	----	-------	-------	---------	-----	---

【特記】

- (1) 全景が見えるようにしてください。
- (2) 2方向以上撮影してください(不整形な土地は多数の方向から取る必要があります)。
- (3) 撮影及び印刷等は明瞭なものとしてください。